

第14回（2020年度）地域社会学会賞受賞作の発表

2021年2月7日（日）に第3回地域社会学会賞委員会が開催され、本年度の地域社会学会賞の各賞の受賞候補作が以下の通り決定し、同日開催された第3回理事会で承認となりましたのでお知らせいたします。

地域社会学会賞（個人著作部門）
受賞作なし

地域社会学会賞（共同研究部門）

- ・吉野英岐・加藤眞義編著『震災復興と展望—持続可能な地域社会をめざして—』有斐閣、2019年7月

地域社会学会奨励賞（個人著作部門）

- ・原田 峻『ロビイングの政治社会学—NPO法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動—』有斐閣、2020年3月
- ・山本崇記『住民運動と行政権力のエスノグラフィー—差別と住民主体をめぐる〈京都論〉—』晃洋書房、2020年3月

地域社会学会奨励賞（共同研究部門）

受賞作なし

地域社会学会奨励賞（論文部門）

- ・横山智樹「原発被災地の復興過程における「通うこと」「帰ること」の意味」
日本社会学会編『社会学評論』第70巻第4号、2020年3月、379-396頁

なお選考経過、講評および受賞者の言葉は「地域社会学会会報」および『地域社会学会年報』に掲載する予定です。今回から「地域社会学会 学会賞選考規定」を一部改正し、「会報」による公示に先立ち、受賞結果を学会ホームページで公示することといたしました。

地域社会学会事務局